

■ 図面管理をとりまく状況

設計行為の複雑化
 CALSにおける協調作業
 電子媒体での承認の可能性

CADの普及
 情報リテラシーの向上
 情報機器の低コスト化

低コストな図面管理のための情報技術の進歩
 図面の属性情報をDBで管理する意義の理解

図面管理システムのニーズの顕在化
 (ISO9000S)

■ 図面管理システムの要件

代替案などの設計の分岐履歴を管理したい
 最新の図面データを簡単に探し出したい

不正な処理・間違った編集を防止したい
 図面の改ざん等を検出したい

部品図形を変更するときの影響範囲を知りたい
 総合図を自動的に更新したい
 図面の整合性を確保したい

進捗状況を把握したい

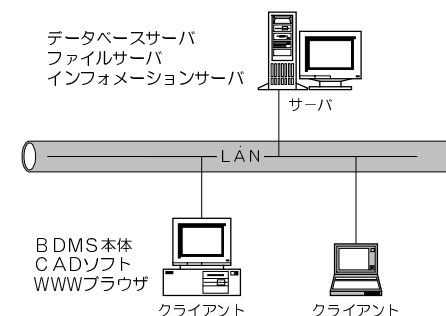
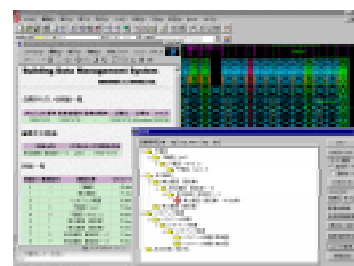
ファイルの一元管理
 図面データの履歴管理
 編集権限管理
 参照関係管理

BDMSはこれらの管理機能を統一的に提供します。
 図面を管理する市販ソフトはありますが、BDMSが複数案の設計履歴や部品の参照関係を扱う点で、市販のものとは異なります。

■ 使い方と動作

ユーザの操作	システムの動作
◆チェックアウトして図面を引き出す	◇図面をユーザに転送し、編集集中情報をDBに登録する
◆CADを起動して編集	◇必要な機能をCADに追加する
◆外部参照を挿入・削除する	◇参照関係をDBに反映させる
◆編集を終了	◇自動的に図面を保存する
◆チェックインして図面を戻す	◇図面をサーバに転送し、編集集中情報をDBから削除する
◆図面を公開する（または変更する）	◇図面を公開ディレクトリにコピーし、公開状況をDBに登録する

■ システム構成



■ 利用環境

サーバ：
 Microsoft Windows NT 4.0
 Microsoft Internet Information Server 4.0 (WWWサーバとFTPサーバ)
 Microsoft SQL Server 6.5 またはその他のデータベース管理システム

クライアント：
 Microsoft Windows 95/98/NT4.0 (NTを推奨)
 AutoCAD R14
 Whip! 3.1

■ 開発環境

Microsoft Visual Studio 6.0 (Visual C++ 6.0)
 Microsoft SQL Server 6.5, OLE DB SDK 1.5
 AutoCAD R14.0, Object ARX, AutoCAD ActiveX Automation, Whip 3.1 ActiveX Control